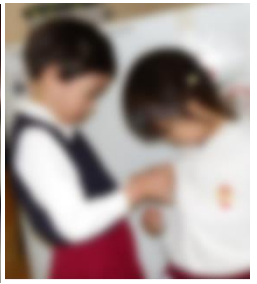
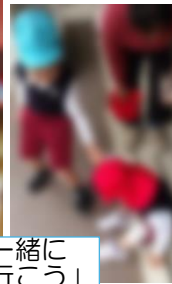
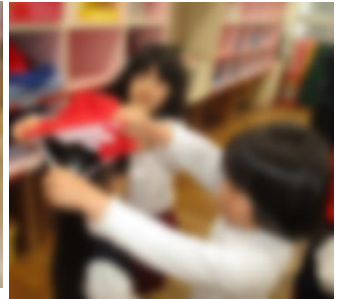


もも組の頃から、そら組になることをとても楽しみにしていた子どもたちは、年上のお兄さんお姉さんらしく過ごした4月でした。自分たちの理想のお兄さんお姉さん像があることは、今までの幼稚園生活で、年上の友達に優しくしてもらったり、憧れたりする経験を積み重ねてきたからこそです。その心の育ちを嬉しく思います。

「あか組さんに優しくしてあげる」とずっと言っていた子どもたちですが、実際のあか組の子どもたちは、初めての幼稚園生活や保護者と離れることに対して、様々な気持ちでいっぱい、泣いている子どももいて、思い通りにならないことがたくさんありました。それでもあか組のために何かしてあげたいと思う気持ちがなぜ湧いてくるのか聞いてみると「だってそら組さんになったからね」と言っていました。自分たちは年長児だという自覚と自信をもって、年下の友達が困っているなら手を差し伸べるといった気持ちが十分に育っていると感じました。

ご家庭では、「まだまだ甘えてばかりで…」という話もよく伺います。それでよいのです。子どもたちは幼稚園で年長児として頼もしく頑張ってくれています。そんな、『社会』で頑張っている子どもたちが肩の力を抜いて安心して過ごせる『家庭』で、「今日も頑張った〜」という姿を、たくさんほめて、甘えさせてあげてください。



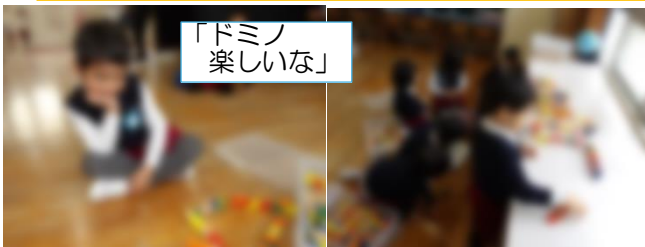
「一緒に
行こう」



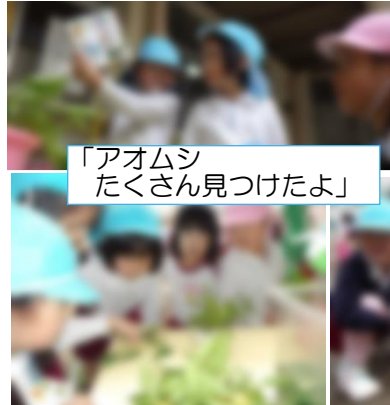
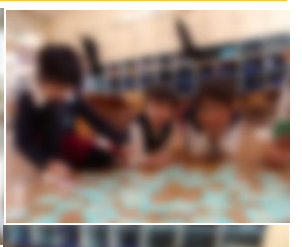
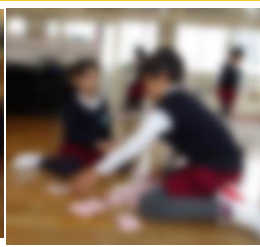
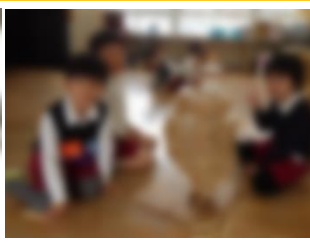
「発育測定
頑張ったね」

そら組のお部屋になり、そら組にしかないおもちゃで遊んだり、引き続きおばけやしきをつくったり、楽しんで遊んでいます。

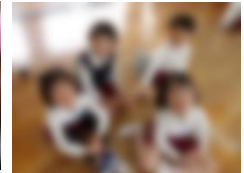
園庭でも引き続き、一輪車や鬼ごっこなどを楽しんでいます。あか組やもも組にも、年上らしく関わる姿が見られます。春のあたたかな日差しの中、アオムシを16匹も見つけました。さすがに16匹も育てられないとあか組ともも組にアオムシのお家をつくって、渡しました。「ごはんは葉っぱをあげてね。みかんの葉っぱだよ」とみかんの木の場所を教えてあげていました。今年もチョウになるといいですね。



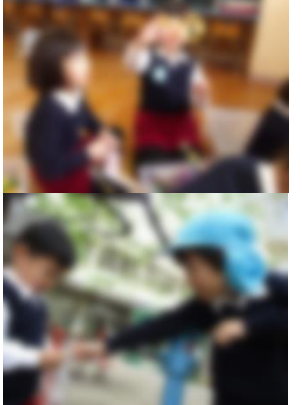
「ドミノ
楽しいな」



「アオムシ
たくさん見つけたよ」



「どこに行きたい？
何して遊びたい？」



そら組の担任になりました。もも組の頃は息抜きに編み物をしていましたが、最近はビーズクロッシェをつくってリラックスしています。もも組から引き続き、今年度もよろしくお願いたします。

今年は、幼稚園生活最後の一年ですね。思い出がいっぱいの素敵な一年になるよう、私も励んで参ります。幼稚園生活の中で、夢中になれることを見つけたり、挑戦することを楽しんだり、友達と力を合わせる喜びに気付いたり、折り合いをつける大切さを感じたり、子どもたちの一人一人の一步一步の成長を保護者の皆様と共に喜べるような保育を進めていきたいです。今年度もお世話になります。何卒よろしくお願いたします。